

第3章 プランの基本的な考え方

1 基本方針

本市は、人口減少、少子・超高齢社会においても、持続的に成長し続ける世界最先端のスマートシティを目指し、次の目標像を掲げるものとします。

ICT・データの活用と多様な主体との連携により、様々な地域課題を解決し、持続的に成長し続ける「スマートシティたかまつ」の実現

あるべき姿に向けて、ICT・データの活用による行政運営の改革を積極的に推進し、既存の行政サービスを維持しながらコスト負担の最大限の効率化を図り、効果として生じた余剰資源（予算、人員等）を活用して、新たな課題解決のための投資につなげる好循環を実現します。

また、多様な主体との連携により、それぞれが保有する先進的なICTを活用・連携させることで、新たなサービスを創出し、複雑化・高度化する地域課題を解決します。

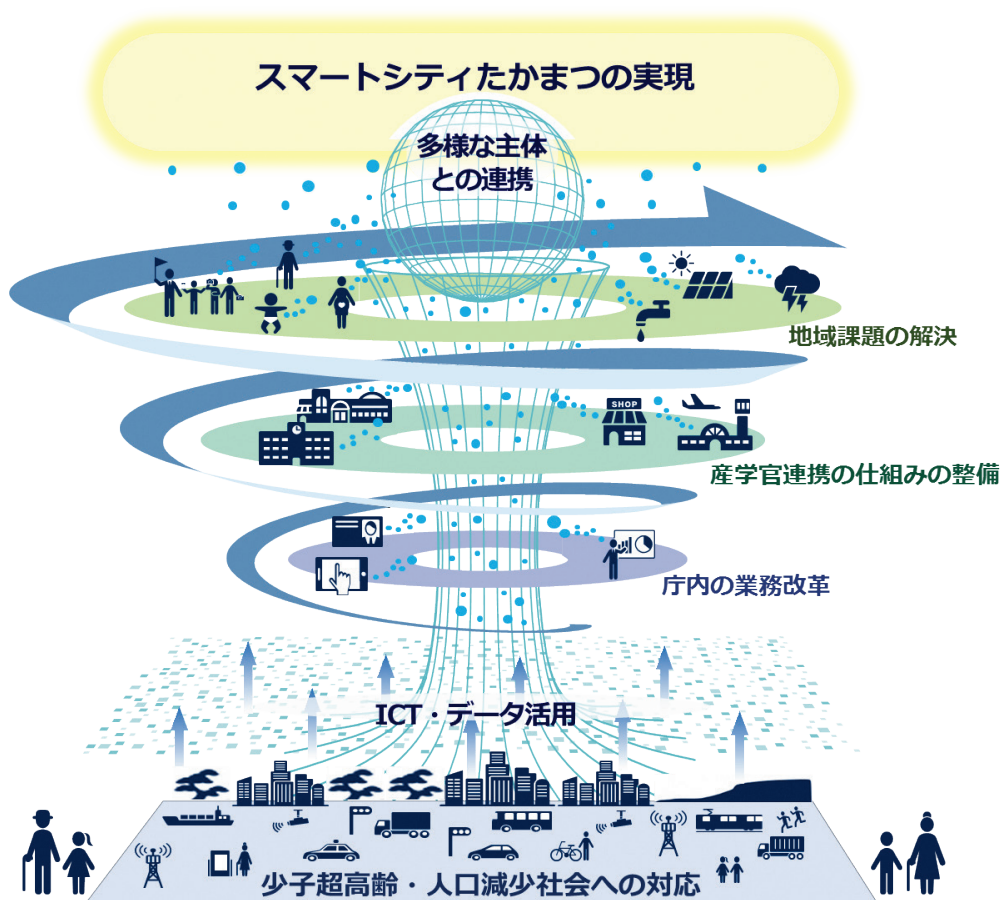


図 3-1 スマートシティたかまつのイメージ

2 施策体系

本プランにおける施策は、基本方針を踏まえ、以下に示す施策体系に沿って、展開を図るものとします。

(1) 地域課題の解決

本市における様々な地域課題の解決を図るためには、IoT や AI 等の先進的な ICT やデータの活用が必要です。

複雑化・高度化する課題を解決するため、IoT を活用したデータ収集・分析や遠隔での映像監視、データの活用による政策決定、先進的な ICT を活用した新たなサービスの創出など、様々な取組を推進します。

(2) 庁内の業務改革

生産年齢人口が減少する中、限られた財源と人的資源で、行政サービスの維持・向上を図りつつ、行政コストを削減するため、行政手続の電子化や AI や RPA 等の活用による業務の自動化・効率化などを推進します。

また、マイナンバーカードの普及に向けて、利便性の向上や満足度の高いサービスの提供に取り組みます。

(3) 産学官連携を支える仕組みの整備

ICT を活用した社会システムの抜本的な改革を進めていくためには、行政だけでなく、企業や大学等においても、自らが保有するデータを相互に活用し、様々な知識や知恵を共有することが重要です。

産学官による連携が円滑に推進できるよう、意識の啓発、IoT 共通プラットフォームの運用など、産学官連携を支える仕組みを整備します。

